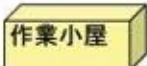
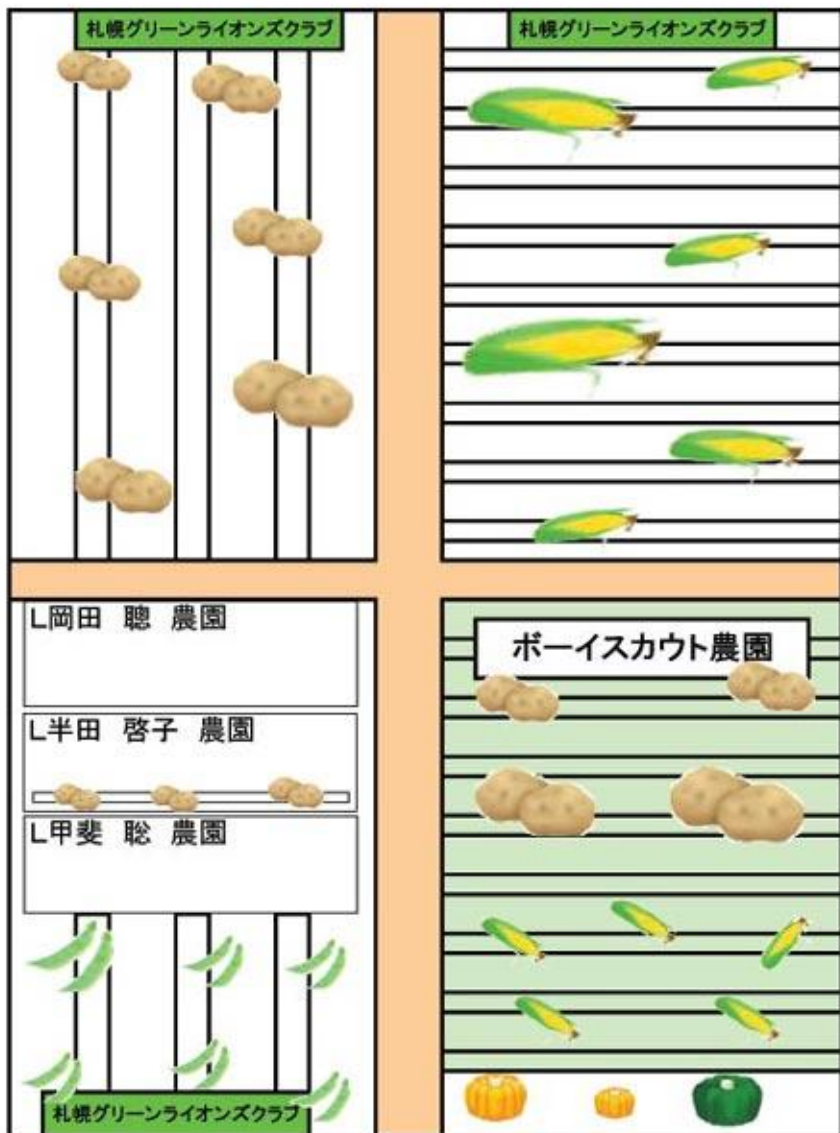


農園の管理

1) 1回目の培土	芽が出て茎が20cm位になったら土をかける 6月上旬。
2) 2回目の培土	イモが肥大しても土から出ないように更に土を盛る 6月下旬。
3) 中耕 草取り	雨が降ると急に草が生えます。草が小さいときに畦の間を耕耘機又は草刈り機で行います。 大きい草はバケツや空いた肥料の袋に入れて畦の外に捨てる。水分があると再び「根」が付きます。
4) 茎葉の枯らし	イモは花が咲いてから40日で食べられます。 茎は自然に枯らすと良い。
5) 収穫	早く掘ると皮が柔らかいので、茎が枯れてから掘起こす。 天気の良い日で、イモが乾燥している状態が良い。 腐敗、緑色、傷、極端な変形は捨てること。
6) 保管	通風コンテナに入れて1週間～10日間は保管する。 箱詰めはイモのサイズを大、中、小、に分けると使いやすい。
7) 食べ方	男爵イモは12月～3月が美味しい時期です。デンプン質が糖分に替わり甘みが増し、水分が少ない時期になります。緑色化したイモはソラニンがあり苦味があります。

20年作付け図



平成20年5月11日作付け

札幌 ←

国 道

→ 石狩